KAKUDAI

シングルレバー混合栓

取扱施工説明書

施工・使用前に必ずお読みください。

お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。
この取扱施工説明書は、別紙「安全上のご注意」とあわせてご使用ください。

このたびは、シングルレバー混合栓をお買い求めいただき、
まことにありがとうございました。

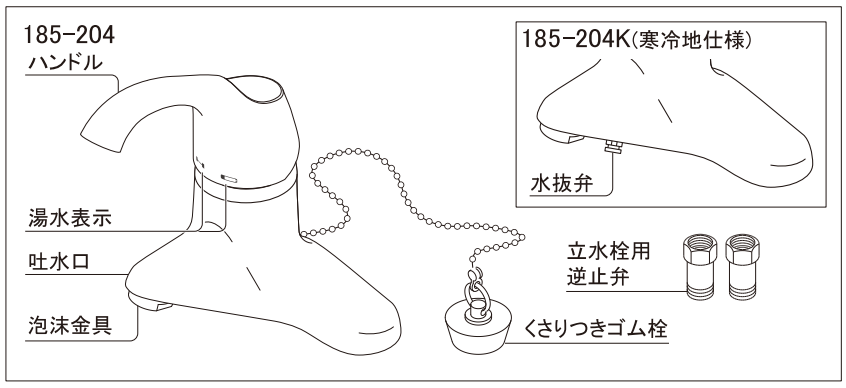
製品同梱明細

■施工される際は、この取扱施工説明書の製品同梱明細で各部材をご確認ください。

品　番	取付穴径(mm)	本体	2コ(立水栓用逆止弁)
185-204	φ23～26	○	○
185-204K	φ23～26	○	ー

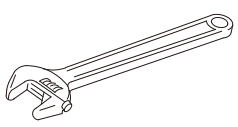
＊上記部材に加えて、
●取扱施工説明書　●安全上のご注意　●保証書　●六角レンチ(対辺2.5ミリ)
を同梱しています。

各部のなまえ

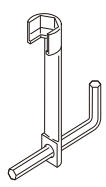


施工に必要な工具

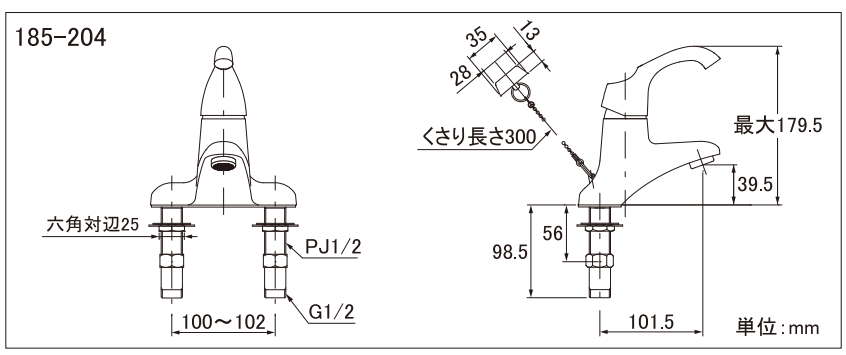
●モンキーレンチ



●立カラン締め



寸法図

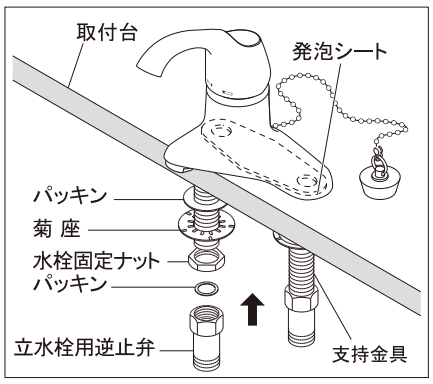


＊表記寸法図は代表品番です。品番によっては図と製品の形状・寸法が一部異なります。

取付方法

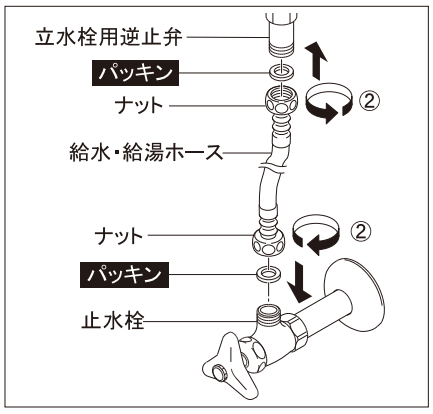
＊数秒間水を流し、配管内のゴミなどを洗い流してから、止水栓または元栓を閉めて取付作業を行ってください。

1. 混合栓本体を取付けます。



①支持金具より水栓固定ナット・菊座・パッキンを取外し、本体底面に発泡シートが貼付けられているのを確認します。
②混合栓本体を取付台に差込みます。
③パッキン・菊座の順で支持金具に差込み、水栓固定ナットを「立カラン締め」などでしっかりと締付けます。
④立水栓用逆止弁を支持金具に取付け、「立カラン締め」などで締付けます。
＊寒冷地仕様の場合は立水栓用逆止弁が同梱されておりませんので、この手順は必要ありません。
＊立水栓用逆止弁には湯用・水用の指定のある機種があります。ご注意ください。

2. 止水栓と接続します。



①パッキンを給水・給湯ホースのナットにはめ込みます。
②給水・給湯ホースのナットにパッキンが入っていることをご確認のうえ、立水栓用逆止弁・止水栓に「レンチ」などでしっかりと締付けて固定します。
＊パッキンの入れ忘れにご注意ください。

必ず実行	フレキパイプをご使用の場合、接続する配管は確実に固定してください。配管の固定が確実でないと、ウォーターハンマーなどの振動によりフレキパイプが破損する恐れがあります。

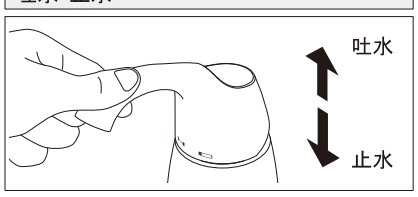
施工後の確認

①止水栓または元栓を開き、各部に漏水がないか確認をします。
漏水が発見された場合は、止水栓または元栓を閉め、漏水する箇所の施工をやり直してください。
②ハンドルを中央位置で上げて左右にまわし、湯水の混合具合をご確認ください。
低温しか出ない、または高温しか出ない場合は、「こんな時には…簡単な点検と対処」を参考に調節を行ってください。

使用方法

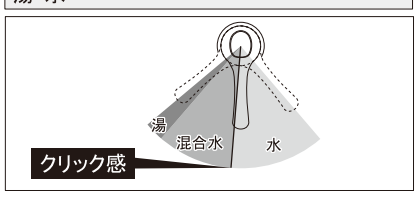
ハンドルの操作方法

吐水・止水



ハンドルを上げると「吐水」、下げると「止水」します。

湯・水



ハンドルを上げた状態で真ん中より左にまわすと「湯」、右にまわすと「水」が出ます。
＊水から混合水に変わる時、クリック感があります。

必ず実行	●湯を使用する際は、必ずハンドルを水側から開栓してください。その後ゆっくり湯側へまわし、お好みの温度に調節してください。湯側を先に開栓すると高温の湯が出て、やけどをする恐れがあります。 ●ハンドルはゆっくり操作してください。ハンドルを急に閉めると、配管に衝撃が加わり、配管からの漏水を起こし、家財などを濡らす財産損害発生の恐れがあります。
注意	ハンドルを操作する際は、ハンドルと本体の間に指などをはさまないようにご注意ください。

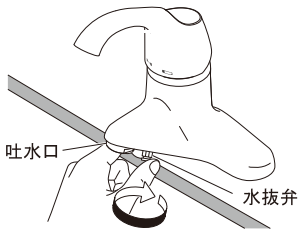
裏面へ続く➡

凍結防止方法

寒冷地用の水抜き方法

凍結の恐れがある場合は、使用後水抜きを行ってください。

①配管の水抜栓を操作して、水が出ないようにします。
②ハンドルを中央位置で上げ、吐水状態にします。
③吐水口下部の水抜弁を取外し、水を抜きます。
＊水抜弁は水抜き以外の目的で開けないでください。
④ハンドルを湯側いっぱいに上げて、水を抜きます。
⑤吐水口から水が出なくなったら、水側いっぱいに上げて水を抜きます。
＊水抜後は必ずゆるめた箇所を元に戻してください。
＊水栓に解氷機は絶対に使用しないでください。



注意　水抜きをされる際は、吐水口や混合栓本体が熱くなっていたり、高温の湯が出てくる恐れがありますのでご注意ください。やけどの恐れがあります。

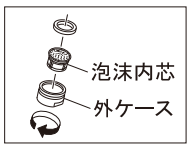
一般地用の凍結防止方法

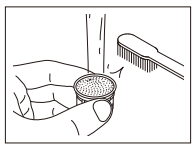
凍結の恐れがある場合は、下記の予防を行ってください。

凍結の恐れがある場合は、水栓周囲の温度が0℃以下にならないようにしてください。なお、0℃以下になる場合は、以下のような方法で予防をしてください。
●配管を保温する。
●水栓から水を少量出しておく。（目安として1分間に牛乳ビン1本分程度）
＊凍結により破損した場合は、保証期間内でも無償修理の対象外となります。

お手入れのしかた

泡沫内芯のお掃除





最初お使いになっていた時より著しく水の出が悪くなった場合は、泡沫内芯を取外して、ゴミなどの異物をブラシなどで水洗いして取除いてください。

器具のお手入れ　いつまでも美しくご使用いただくために。

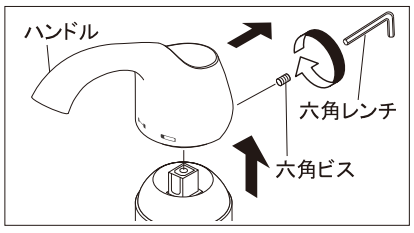
＊別紙「ご注意とお願い」とあわせて、ご確認ください。

●水栓器具の金属部
ふだんは乾いたやわらかい布でみがき、ときどきカーワックスなどをしみこませた布でみがいてください。
●水栓器具のプラスチック部・塗装面
乾いた布を使ってお手入れしてください。汚れがひどい時は、うすめた食器用中性洗剤を含ませた布で拭き、乾いた布で水気を拭き取ってください。

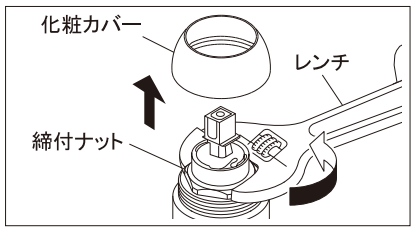
注意　金属たわしやクレンザー・みがき粉など粒子の粗い洗剤・酸性や塩素系の洗剤・ベンジン・油などは、金属表面を傷つけたりプラスチック部・塗装面を傷めますので使用しないでください。

カートリッジの交換方法

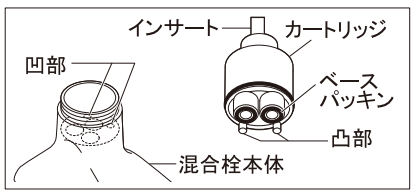
＊作業前に、必ず止水栓または元栓を閉めて止水してください。



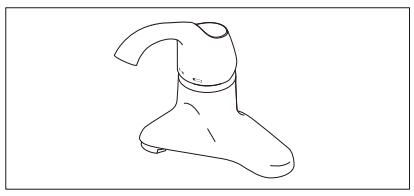
①付属の「六角レンチ」で六角ビスをゆるめ、ハンドルを上へ取外します。
＊六角ビスはなくさないようにしてください。



②化粧カバーを左にまわして取外します。
締付ナットに「レンチ」などをかけ、左にまわして取外します。



③古いカートリッジを抜取り、新しいカートリッジの底にベースパッキンがついているのをご確認のうえ、底の凸部が混合栓本体の凹部に合うように差込んでください。

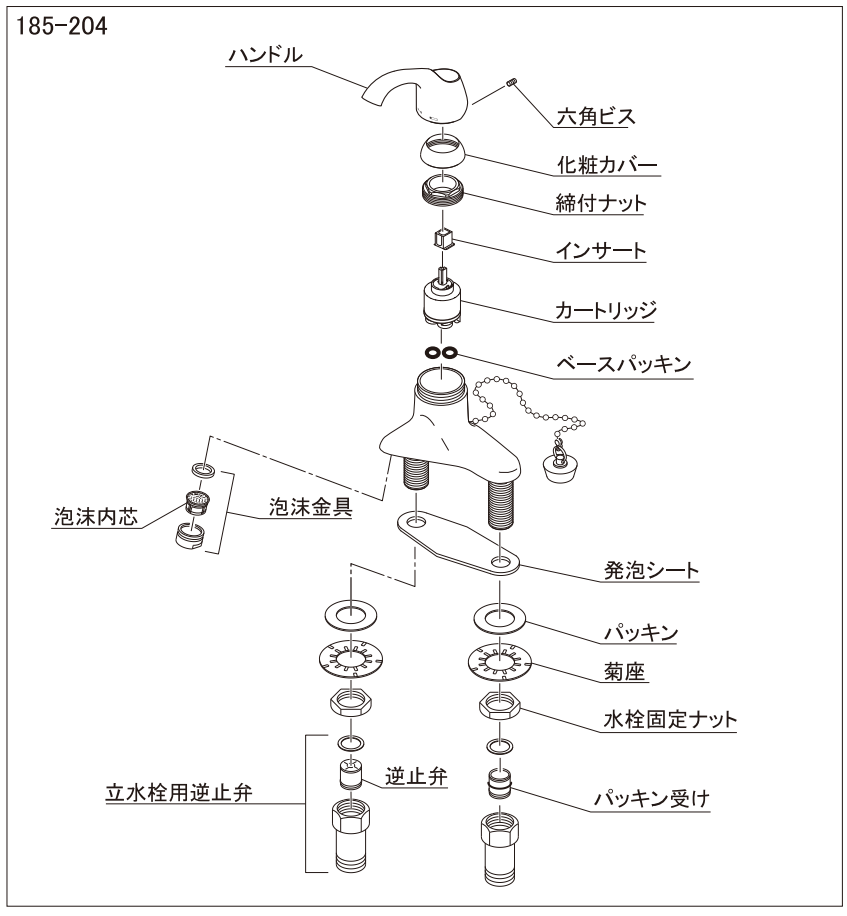


④①～②の逆の手順で組直してください。

＊作業後は、必ず止水栓または元栓を開いて通水し、漏水がないことをご確認ください。

取付時の注意
●ハンドル内にインサートが残っている場合は、インサートを取外してください。
●カートリッジ底にベースパッキンがあることをご確認ください。
●カートリッジ底の凸部を混合栓本体の凹部に合わせてください。
●締付ナットは適度な力で締付けてください。（締付けすぎるとハンドルが操作しづらくなります。）

分解図



＊表記イラストは代表品番です。品番によっては図と製品の形状が一部異なります。
＊製品改良のため、部品仕様などを予告なく変更する場合がありますので、ご了承ください。

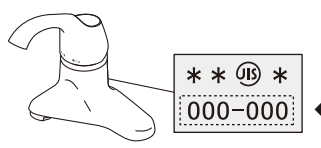
こんな時には…簡単な点検と対処

機能が正常に働かない時は、修理を依頼される前に 分解図 を参考に次の要領で点検を行ってください。

現象		原因	対処のしかた
温度調整不良	高温しか出ない	●水側の止水栓が閉まっている	●水側の止水栓を調節する
		●給水圧より給湯圧の方が高い	●止水栓を調節する
	低温しか出ない	●湯側の止水栓が閉まっている	●湯側の止水栓を調節する
		●給湯圧より給水圧の方が高い	●水側の止水栓を調節する
		●給湯機の能力（給湯機の異常）	●別紙「安全上のご注意」の「使用条件」をご参照ください。
吐水不良	吐水量が少ない	●湯・水側の止水栓が閉まっている	●適正水量になるまで止水栓を開く
		●泡沫内芯の目詰まり	●泡沫内芯を掃除する
	全く吐水しない	●本体に湯・水がきていない	●湯・水の元栓を開く
		●湯・水側の止水栓が閉まっている	●適正水量になるまで止水栓を開く
止水不良	止水できない	●カートリッジの異常	●カートリッジを交換する
	ハンドル下より漏水	●締付ナットがゆるい	●締付ナットを締める
		●カートリッジの異常	●カートリッジを交換する
操作しづらい		●ハンドルのガタつき	●付属の「六角レンチ」でハンドルの六角ビスを締直す
ハンドルがかたい		●締付ナットの締めすぎ	●締付ナットを適度な力で締直す
		●カートリッジの異常	●カートリッジを交換する

分解禁止　本体内蔵のカートリッジや部品などは、絶対に分解しないでください。
故障の原因となります。

修理を依頼されるときは



上記の点検を行っても正常に作動しない場合は、お買い上げの販売店（水道工事店）にお問い合わせください。品番は、本体裏に貼付してあるラベルでご確認ください。

●水と住まいの接点
株式会社カクダイ
本社　〒550-0012　大阪市西区立売堀1-4-4　☎(06)6538-1124
東京 ☎(03)3552-0981　名古屋 ☎(052)504-1551　大阪 ☎(06)6730-3391　福岡 ☎(092)611-4611
広島 ☎(082)278-2821　札幌 ☎(011)704-1511　仙台 ☎(022)239-8371

0420GF
M-A1514A

無断転載・複写を禁ず